

平成21年度（2009年度）  
事業報告書

自 平成21年4月 1日

至 平成22年3月31日

財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会

# 目 次

平成21年度事業の概要	1
Ⅰ アカデミー教育事業	2
Ⅱ 演奏会事業	5
Ⅲ 音楽普及事業	6
役員会の開催状況	7

## 平成 21 年度事業の概要

パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）は、20 世紀を代表する世界的な音楽家である故レナード・バーンスタイン氏の提唱により 1990 年に創設された国際教育音楽祭であり、次代を担う若手音楽家の育成と音楽文化の普及発展を通して、世界平和に貢献することを目的とするものである。当事業は、世界最高水準の音楽家を教授陣に迎え、各国・地域からオーディションで選抜した若手音楽家を育成する教育事業（PMF アカデミー）、多彩なコンサートを行う演奏会事業、オープンリハーサルやアウトリーチコンサートなどを通して一般への音楽の幅広い普及を目指す音楽普及事業で構成されており、財団法人 PMF 組織委員会がその運営にあっている。

PMF は年 1 回実施しており、第 1 回（1990 年）以来、事業内容の充実、発展と安定的な事業運営に努めながら回を重ね、平成 21 年度に記念すべき第 20 回を迎えることとなった。20 回記念となる PMF 2009 では、18 か国・地域から、厳しいオーディションを通過した 129 人の若手音楽家が参加し、創設期から芸術監督として PMF の基礎づくりに貢献したマイケル・ティルソン・トーマス氏及びクリストフ・エッシェンバッハ氏をはじめ、ウィーン・フィルやベルリン・フィルなど一流の教授陣のもと、世界最高レベルの音楽指導を受けた。その成果発表としての演奏会では、若い力と情熱にあふれる演奏は多くの観客に感動を与え、高い評価を得ることができた。

各演奏会は、アカデミー生の成果発表の場であるとともに、教授陣の演奏を提供する場でもあり、札幌市内及び道内各地をはじめ東京、大阪で計 48 公演を行い、個性的で多彩な音楽を披露し、多くの観客を魅了させた。なお、今年度は 20 回を記念して、過去の PMF 修了生から選抜した 65 名による PMF アニバーサリー・オーケストラを編成し、札幌と苫小牧で公演を行った。

PMF 2009 の演奏会入場者総数は、44,263 人であった。

今後も PMF の理念をより広く実現させるために、多くの人に支持される音楽祭を目指すとともに、運営基盤を確固たるものとし、将来にわたって安定した事業運営を図っていくことができるよう努めていくこととしたい。

# I アカデミー教育事業

オーケストラ、コンポジション（作曲）及び弦楽四重奏の3つコースに分かれ、世界各国・地域からオーディションによって選抜した若手音楽家に対し、一流の教授陣による世界最高水準の指導及びその成果の発表を行った。

## 1 オーケストラコース（合格者 113 名／受験者 1,427 名）

### ア オーディションの概要

満 18 歳以上 29 歳以下を対象として、アジア・オセアニア、ヨーロッパ、北アメリカの計 21 都市で、ライブオーディションとレコーディングオーディション（録音審査）を実施し選考した。

ライブオーディションは 1,247 名、レコーディングオーディションは 180 名（計 1,427 名）が受験し、113 名が合格した。（合格率 7.9%）

＜オーディション開催都市＞ 札幌、北京、ソウル、大阪、東京、香港、台北、シドニー、シンガポール、ベルリン、アムステルダム、ウィーン、パリ、ロンドン、ボストン、フィラデルフィア、ニューヨーク、シカゴ、クリーヴランド、ヒューストン、ロサンゼルス の 21 都市。

### イ 各コースの内容

#### ① オーケストラリハーサル

公演順に 4 つのプログラムに分け、各プログラムごとに楽器別のセクション練習と全体リハーサルを行った。

#### ② マスタークラスとコーチング

弦楽器セクションは予め希望した者が、人数の少ない木管・金管及び打楽器はセクションのメンバー全員が、それぞれ計 4～14 時間にわたり教授から個別に指導を受けた。

#### ③ 室内楽、ブラス・アンサンブル・木管アンサンブルのリハーサルとコーチング

メンバー各自に課題曲となるアンサンブル曲が割り当てられ、自主練習及び教授陣の指導を受けた。

## 2 コンポジション（作曲）コース（合格者 4 名／受験者 25 名）

### ア オーディションの概要

満 18 歳以上 35 歳以下のアジア国籍の作曲家を対象として、当コースの教授であるレジデント・コンポーザーのレーラ・アウエルバッハ氏による譜面審査を実施した。25 名が作品を提出し、うち 4 名が合格した。（合格率 16.0%）

### イ コースの内容

メンバー 4 名に対して、教授のレーラ・アウエルバッハ氏が 6 日間（実際にレッスンやリハーサルへの立会い指導を行った日数）、計 22 時間にわたり指導した。レッスンでは、各自の自作曲について話し合う中で、さまざまなトピックスについてディスカッションを行った。また、自作曲を PMF オーケストラ・メンバーが演奏する公演のリハーサルに立ち会い、演奏の指導などを行った。

## 3 弦楽四重奏コース（合格者 3 グループ 12 名／受験者 20 グループ 80 名）

### ア オーディションの概要

満 18 歳以上 29 歳以下のメンバーで構成される弦楽四重奏団を対象としてレコーディングオーディションを実施し、東京クワルテットが選考した。20 グループ（80 名）が録音を提出し、うち 3 グループ（12 名）が合格した。（合格率 15.0%）

### イ コースの内容

参加にあたり、各グループはあらかじめ 3 曲のレパートリーを準備し、東京クワルテットがその指導にあたった。メンバーは 12 日間にわたりコーチングを受けるとともに自主練習を行い、PMF 弦楽四重奏コース演奏会、ピクニックコンサートなど計 6 回の公演を行った。

## 4 成果の発表

アカデミー生の練習成果は、PMF オーケストラ、PMF アカデミー・アンサンブル、PMF 弦楽四重奏コースなどの演奏会を開催して発表した。

※ 演奏会実績～PMF オーケストラ 7 回、PMF アカデミー・アンサンブル 7 回、PMF 弦楽四重奏コース 3 回、パシフィック・サウンディングス（コンポジションコース・メンバーの作品）1 回、ピクニックコンサート 1 回、など。

## 5 教授陣

- (1) 1990－2000 芸術監督 マイケル・ティルソン・トーマス  
1991／1993－1998 芸術監督 クリストフ・エッシェンバッハ
- (2) 客演指揮者 シエン・ジャン
- (3) PMF 芸術主幹 ペーター・シュミードル
- (4) シニア・アーティスティック・アドミニストレーター／指揮者  
ルイス・ビアヴァ
- (5) レジデント・コンポーザー／コンポジションコース教授  
レーラ・アウエルバッハ
- (6) 指揮者 尾高 忠明、高関 健
- (7) アシスタント・コンダクター 川瀬 賢太郎
- (8) オーケストラコース
  - ア PMF ウィーン（ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団首席奏者）14 名
  - イ PMF ベルリン（ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団奏者、ベルリン・ドイツ交響楽団奏者）13 名
  - ウ PMF インターナショナル・プリンシパルズ（北米、日本の主要オーケストラ首席奏者）14 名
- (9) 弦楽四重奏コース教授 東京クワルテット
- (10) PMF ピアニスト 赤堀 絵里子、沢木 良子

## II 演奏会事業

### 1 演奏団体・ゲストアーティスト等

#### (1) 教授陣によるアンサンブルの編成

- ・PMF ウィーン

モーツァルト ディヴェルティメント ニ長調 K. 136(125a) ほか

- ・PMF ベルリン

R. シュトラウス/ハーゼンエール編 もう一人のティル・オイレンシュピーゲル ほか

- ・PMF インターナショナル・プリンシパルズ

シューベルト 五重奏曲 イ長調 作品 114 D. 667 「ます」 ほか

#### (2) 東京クワルテット

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲 第2番 ト長調 作品 18-2 「挨拶」 ほか

#### (3) 札幌交響楽団

バルトーク 管弦楽のための協奏曲 ほか

#### (4) ゲスト・アーティスト等

- ・エリック・シューマン (ヴァイオリン)

ベートーヴェン ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 61

- ・カースティン・ブレイズ (ソプラノ) / ペトラ・ラング (メゾ・ソプラノ) /

#### PMF 合唱団

マーラー 交響曲 第2番 ハ長調 「復活」

- ・アンドレ・ワッツ (ピアノ)

ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品 73 「皇帝」 ほか

### 2 開催実績

#### (1) 開催地

- ・札幌市内 (札幌コンサートホール、札幌芸術の森ほか)
- ・北海道内 (函館市、苫小牧市、小樽市、奈井江町、室蘭市)
- ・東京都 (紀尾井ホール、サントリーホール)
- ・大阪市 (ザ・シンフォニーホール)

#### (2) 公演数 48 公演 (49 公演予定、雨天中止 1 公演)

#### (3) 総入場者数 44,263 名 (北海道内 40,479 名、札幌市内 37,719 名)

### Ⅲ 音楽普及事業

音楽教育の一般公開その他音楽の普及に関する事業として、オープンリハーサル、教育セミナー、PMFトークセッションを行った。

#### 1 オープンリハーサル

オーケストラのリハーサルやゲネプロ（本番前の全体リハーサル）を見学できるプログラム。PMF 20 回記念開会式のコンサトリハーサルをはじめ計 8 公演を対象に実施した。また、当日コースを新設した。

対象者：中学生以上

参加者：延べ 412 名

#### 2 教育セミナー

青少年の音楽教育に携わる教師や講師を対象に、PMF ピアニストの赤堀絵里子氏及びカール・ギュンター・ザグマイスター氏による音楽講座、ルイス・ビアヴァ氏による音楽教室、各演奏会の鑑賞を通して音楽教育のあり方について研修を行った。

対象者：全国の小・中・高等学校、養護学校などの教師、音楽教室の講師、音楽学部  
部に在籍する学生など、音楽教育活動に携わる者

参加者：計 21 名

#### 3 PMF トークセッション

PMF の魅力やコンサートの聴きどころ、クラシック音楽の現状などを市民に分かりやすく伝えることにより、音楽の普及と PMF 事業の周知を目的として、平成 21 年度に初めて実施した。芸術家や評論家、PMF 組織委員会職員などによるトーク、PMF 修了生によるミニコンサートなど、全 4 回会期前から実施した。

対象者：一般市民

参加者：計 127 名

#### 4 PMF フレンズ会員数

1,159 名（平成 21 年 7 月 31 日現在）

## 役員会の開催状況

### 1 理事会

開催年月日	審議事項	結果
平成 21 年 6 月 26 日 (第 1 回定期理事会)	1 平成 20 年度事業報告	承認
	2 平成 20 年度収支決算報告及び監査報告	承認
平成 21 年 9 月 14 日 (第 1 回臨時理事会)	1 新公益法人移行に伴う最初の評議員を選任するための評議員選定委員会における外部委員の選任	承認
平成 22 年 2 月 1 日 (第 2 回臨時理事会)	1 公益法人移行に伴う理事長及び常務理事の選任	決定
	2 公益法人移行に伴う定款変更	承認
平成 22 年 3 月 26 日 (第 2 回定期理事会)	1 平成 22 年度事業計画 (案)	承認
	2 平成 22 年度収支予算 (案)	承認
	3 評議員の任期満了に伴う選任	決定
	4 理事長及び常務理事の互選	決定

### 2 評議員会

開催年月日	審議事項	結果
平成 21 年 6 月 26 日 (第 1 回定期理事会)	1 平成 20 年度事業報告	承認
	2 平成 20 年度収支決算報告及び監査報告	承認
平成 22 年 1 月 28 日 (第 1 回臨時評議員会)	1 公益法人移行後の理事及び監事の選任	決定
	2 公益法人移行に伴う定款の変更	同意
平成 22 年 3 月 25 日 (第 2 回定期評議員会)	1 平成 22 年度事業計画 (案)	同意
	2 平成 22 年度収支予算 (案)	同意
	3 理事及び監事の任期満了に伴う選任	決定